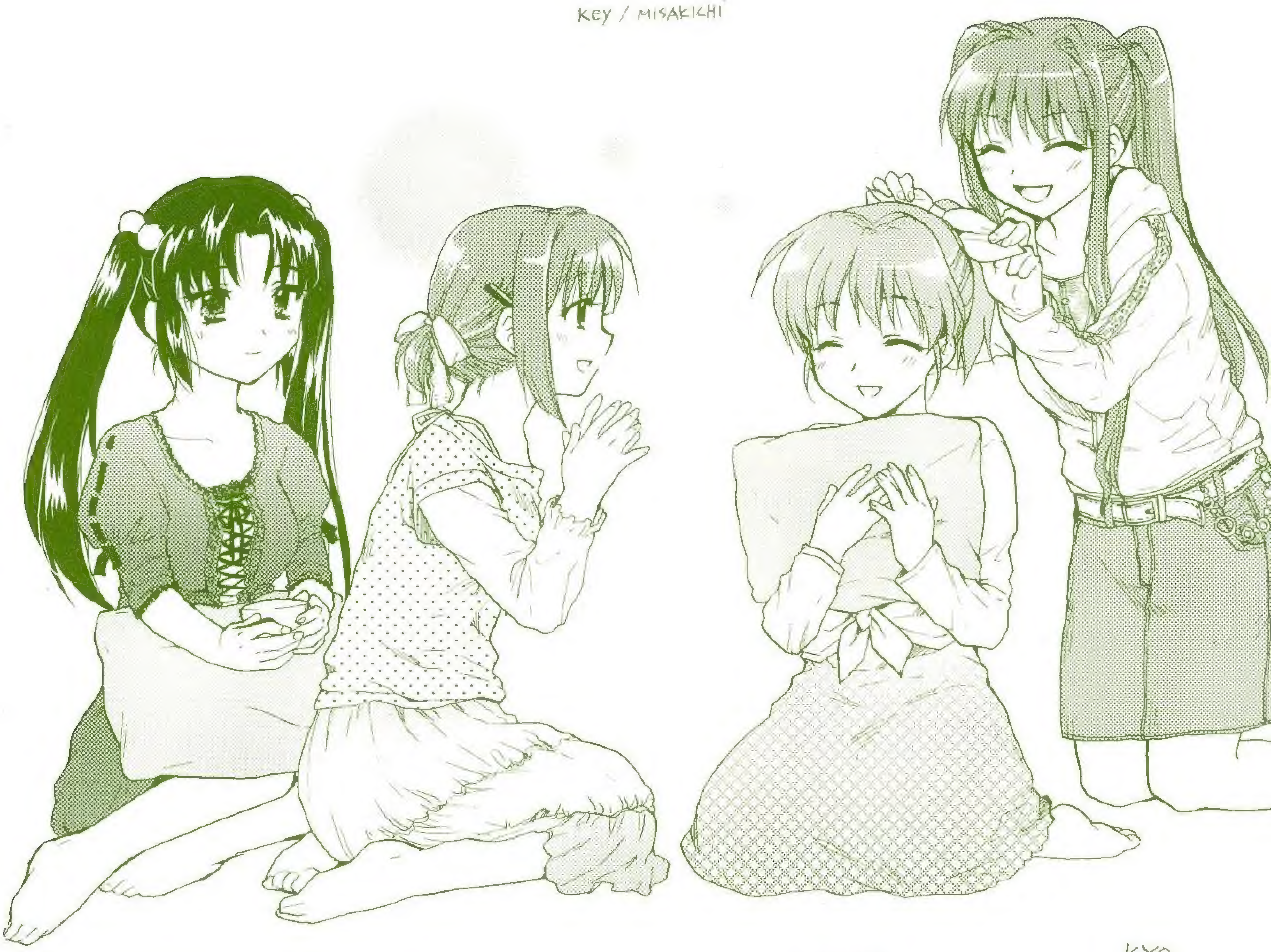

CLANNAD
－クラナド－
オフィシャルコミック 2
原作:KEY
漫画:みさき樹里
CR COMICS

CLANNAD
OFFICIAL COMIC II

Key / MISAKICHI



KEY


CLANNAD
-クラナド-
オフィシャルコミック 2

Contents




第7回(だいかい)
～夢(ゆめ)～


ぼー
今日から…
──だ
昨日の放課後──
俺は古河に好きだと言った
──はい
古河はそれにうなずいてくれたんだ
間違いじゃないのなら
今日から古河とは
彼氏彼女のはずだ
──正直
全く実感がない
むむ
夢オチ…
じゃないよな…



岡崎さんっ
ドキッ
ドキッ
ドキッ
あ…ああ…
おはよ…
ドキン
ドキン
ドキッ
ぎぎっ
古河が
俺の
彼女——…
ドドッ
はい
おはよう
ございます
あっさり
あれっ
——どうか
しましたか…?
い…いや!!
ホラ 行こうぜ!?
今日は岡崎さんが
早いですねっ
不思議な感じです
ああ…
まあな…
——拍子抜け
してしまった


ちら
古河は
こうして見ると
かわいいと思う
じーっ
そして
何より優しい
…だから あの時
うんと言ったのも
優しさなのかも
しれなかった
同情もあるのかもしれない
俺の事を
傷付けまいと――
…岡崎さん
はっ
わたし いつもここで
今日のお昼は
何にしようかって
それを考えて
来るんです
あんぱんっ
――ああ
…でも今日は
何も考えないで
来ました
学校には
岡崎さんが
いるから


わたし今日から岡崎さんの彼女ですっ
カーー
――ああ そうだな…
わ…
岡崎さんがテレてます…っ
かぁあっ
お…お前が いきなり とんでもない事 言うからだろっっ!!
なんて事だろう
えへへ
『これからきっと毎日が楽しくなる』
本当にそれが実現するかもしれない
――古河
古河にとっても 俺にとっても
渚って呼んでいいか？


オーーイ…!!
ん?
岡崎っ!!
!?
春原!?
…なんのつもりだ こんな朝から
おはようございます 春原さん
おはよっ渚ちゃん いや バスケやってみようと思ってさ
はぁ!? 突然なんだ!? 沸いたか?
もちろん 僕だけじゃないさ
岡崎も やるんだよ バスケ!


…は…
はぁあ〜!!?
いくら僕がスポーツ万能でもバスケ部相手じゃちょっと分が悪いからね!
岡崎バスケ経験者だし有利かもってさ
待てよ…なんの事言ってるんだっ
だからバスケ勝負するんだよ!バスケ部と3on3で!!
そんで僕たちでバスケ部に勝つんだよ!
合唱部の奴らにそれ見せてわからせてやるんだっ
……!
…アホか…そんなの無理に決まってるだろ…
渚 行こうぜ
あ
待てよ岡崎っ
お前悔しくないのかよっ!!


ハンデを自ら盾にするような奴らにいいように言われて…!
悔しいだろ⁉だから岡崎がやるんだよっ
見せつけてやれよ!ハンデなんか関係ねえって!!
なあっ⁉
見返してやろうぜ岡崎ぃ――っ!!
――…
アホか…あいつの思いつきに付き合うほどヒマじゃねえよ…
わかっているさ
…バスケ…
ムリだって知ってるだろ…
――はい…
なんとかしてやりたいとは思っているけども


え…
演劇部…やめちゃったんですか…?
うむ…昨日の放課後生徒が来てな
ただあきらめる と
…はぁ
よよかったねりえちゃん!合唱部できるんだよ
これで心配なくなったね〜
でも…
ふむ
あまり嬉しそうではない感じだの…?
いいえっ
…ただ あんなに頑張っていたのになんでかなって…そう思っただけです
?
そ そういう事もあるよね
そーそー たまたまだよ〜
―はい では失礼します
失礼します
カラ…


――ん
仁科さんか
はい こんにちは 坂上さん
ちょ…! なんで坂上さんが出てくんの!?
し知らないよ…関係ないと思うけど~~…
職員室に用でも?
あ はい 部活の事でお話を…
ビクッ
ビクッ
そうか 活動はどんな感じだ?
あ ええと…
なんとか――活動はできそうなんですけど…
はい
――何か あったのか?
…あ
わ~~~っ
ホ…ホラ! りえちゃん 昼休み終っちゃうから!
ねっ
ぱん
早く席取りに行こう? 次 移動だしさっ



あ そうだね
そうか 引き止めて すまないな
イヤ
そんじゃね 坂上さんっ
ホッ
あ 坂上さん さっきの話
実は 私と もうひとつの部が どっちかしか活動 できないって話だったんです
そしたら もうひとつの方が あきらめたと聞いて …不思議だなって
―あんなに 演劇部 作りたがってたのに…
それじゃ…
演劇部… あきらめたって 言ったのか…？
どうして…！ 話を 聞かせてくれ
ドキ ドキ ドキ ドキ


友達なんだ
頼む
ね なんか マズくない 杉坂さん〜
……
ザワ
ザワ
な——
なあって——
岡崎〜〜〜
一緒にイイ汗流そうぜっ 岡崎!!
ひとりで流してろ タコ
うわっ
カケラほども ヤル気ないっスねー


ちょっとくらいいーじゃん経験者なんだしさ
僕と同等にわたり合えるのって岡崎くらいだと思うんだよね
絶対やらねぇよ…バスケなめんな
――ふーん
じゃあお前はこのまま黙って見てるんだ
――…そうは言ってねぇだろう…
ピク
あーあ渚ちゃんもかわいそうにね
せっかく協力してくれる人がいてもこんな奴でさっ
…んなっ
いーや言ってるね
できないんじゃなくてやらないだけだろ
――ん?
…あぶねぇこいつの手だろこれはっっ
あれ?どしたの岡崎?こっちから行くよ?
勝手にどこにでも行けっっ!!



あれっ？ おーい 岡崎
――このままで いいとは 思っていない
――けど
――……
ぶっちゃけ 時間がもったいない 気がする…!!
とりあえず 放課後 春原 まくのが 先決だな…
キーン コーン
カーン コーン
あっ 岡崎!!



おっと春原！
今日は先生と来てもらうぞ！
いいなっ
ええー
グッ
よっしゃ!!
ナイス乾!!
渚っ
おいっ
渚!!
だだだっ
こっちだ！
早くこいっ
お前だ
お前っ!!
だーっ
いいから
早くっっ
ーお
お待たせ
しましたっ
ギュッ


わ
いいか？春原に見つからないように帰るんだ
走るぞっ
はははいっ
あれ…
——今の…
オーイ岡崎～っ
ガラ
うっヤベ…!!
渚っこっちだ！
は…はい～～



ピシャッ
…なぁ 岡崎見てない？
…あっそ おっかしーな…
オーーイ
たたたっ
しっ
……
——よし …行ったな
——はい…
えへへ… すごくドキドキしちゃいました…
改めて渚の事が——
…ヤバイ…
…そら走ったからな…
それはあるかもですっ
ん？


あ
こんにちは
宮沢と申します
…すみません
お邪魔して
———…!!!
声をかける
タイミングを
外してしまいました
———…いや
…いい…
かぁ…
ちょっと
追われてるんだ
…隠れさせてくれ
そっ
そういえば
ここって資料室
ですよねっ
委員の
方ですかっ!?
いえ
そういうわけじゃ
ないんですが…
カチャ
カチャ
じゃーんっ
よろしかったら
どうぞ
落ちついて
ゆっくりされて
ください
お砂糖と
ミルクは
入れますか?
喫茶店か
ここはっ
…いや


この場所が好きなんです
皆さんから忘れられた場所ですけど…
ふーん…
誰でもゆっくり癒されるような場所を作れたらいいなぁって
それでここにいたいと思ったんです
ひとりでさびしくないんですか…?
平気です お友達が遊びに来てくれますから
よかったらまたおふたりも気軽にいらしてくださいね
そりゃ構わないが…
はいっ わたしなんかでよければっ
ゆっくり癒される場所か――…
…渚は俺といて楽しいのだろうか
――ところで



追われてるというのはどういう事ですか?
——ああ
金髪の変な男がさ俺を追っかけ回してくるんだ…こいつがしつこいったらなんの…
ええ…?
目的はなんなんでしょうね…?
さあ…俺の体じゃね?
そそんな…春原さんが…!?
信じられません…っ
あ…でもっ恋愛は個人の自由ですけど…
…でもっ
——渚
お前は…なんて純粋でアホの子なんだ…
そ…



落ちついてください 古河さん
良い方法がありますから…
ほ…
方法…？
——まず
用意するのは10円玉1枚…
追われている人は相手を思い浮かべて10円玉を立てます そして「タシマシウホウツ」と3回唱えれば完璧です…
はあぁっ!!?
ただのおまじないだろ!? それっ!!
つか そんなのあるのかよ!!
そう言われましても… あるんですよ
お友達にもよく効くって評判いいんですよ～
どんな友達だっ
プル
プル
なぜかやるハメに
えーと…
た
タシマシウホウツ
タシマシウホウツ
タシマシウホウツ
これでいいかっ!?


コラー
ザッ
見つけたわよ
陽平…っ
この際アンタでいいわ…!!
ゲェ!?
杏…っ!?
ひっ
ちょっと
聞きたい事あるから
付き合いなさい…っ
ちょ…ま…っ!?
僕何かしました
かねえっっ!?
じ…人権
侵害——っっ
ひぃいいいい…
…おまじないって
あんました事ないが
すげーんだな…!!
これは使える!!
そうなんですよー
ちょっと子供っぽい
ですけどねっ
へ——…
色々あんだな
友達と
仲直りできる…
好きな人に
振り向いてもらう
かわいくなれる——
はは…
パラ…


…宮沢
これ…
はい？
できねぇか？これ
……
〝お互いの夢を叶えるおまじない〟
…ですね
ああ
――わかりました
少し難易度が高いのですがやってみましょう
ではまずお互い向かい合って立ってください
ああ
次に男性は女性の肩女性は男性の腰に手を当ててください
…それで？
お互いの事を考えながら名前を呼んで5秒見つめ合います
…ふたりいないとできないんですよこれ


ああ…
なるほど…
ドクン
平静を装ったつもりが
頭の中が真っ白になる
ドクン
ドクンッ
──…渚
5
顔が赤くなっていくのが自分でもわかった
ドッ
ドッ
ドッ
ドッ
朋也くん…
4



――ああ…
じ～～ん
3
降ってわいたこの状況に感謝しよう
2
考えてみれば
俺は貰ってばかりだ
1
どうしたい？何が渚にしてやれる？
力になりたいって気持ちは今も強くある



ピンポンパンポン
生徒の呼出しを行います 3－B 古河渚 古河渚
至急 部室まで来てください！
!!
ピクーン
くり返します 3－B 古河渚 至急 部室まで
――……
――え……
ドッキン
ドッキン
バク バク バク バク バク
この声…智代か…？
…あ……
わ わたし
ぎゅっ
あ
ガラッ
あのっ 部室に行ってきます!!
だっ
…渚
…おまじないは成功ですね 見てる方もドキドキしましたっ
…そうか
ハイ


お
じゃあ俺も行くな
コーヒーサンキューな宮沢
——ですが勘違いしないでください
おまじないは所詮おまじないにすぎません
きっかけにはなるかもしれませんが
その後の事はふたりの問題ですから…
——ああ…
そうだな
おふたりの夢が上手くいくように祈ってます


ええっ
演劇部…活動できるって本当ですかっ
はい こうしましょう
幸村先生に週の半分は合唱部 もう半分は演劇部と来て頂いて…
その分 活動時間は短くなってしまいますけど…
悪い話じゃないと思いますがいかがです？
──…
おまじないスゲー…
で でも仁科さんたちはそれでいいんですか…？


…合唱部も
よく考えて
出した結論だ
古河の必死さが
伝わったんだろう
智代…
ちょっ…
じゃあバスケは!?
3on3はっ!?
試合を申し込んだ
僕の立場はっっ!?
知るか
ひぃぃぃ
しかもなんでいるんだ
え
てことは渚
演劇部
できるって事!?
よかったじゃない!
わっ
ああ
おめでとう
…みなさん…


……
でも…
…わたし
みなさんに助けてもらってばかりでご迷惑かけてます…
——また そんな事を…
いいじゃねえか
みんな自分から言ってんだ
見ろよ
これだけの人間をその気にさせてんだぜ お前
すごい事だよ
きっかけはどうあれ


みんな渚を応援してんだよ
だから今は甘えてさ
俺が渚にしてやれる事は
やりたいならやればいいんだよ
なっ
少しの後押し
たくさんの楽しい事を見せてやりたい


そして
——はい
渚と一緒の夢を見られたらいいと思った
あ
そういや部員の問題があったな…
はあ!?
何!? まだ決まってなかったの!?
この際 入部したら!?
うるせー そのつもりだよ
もうひとりは春原でいいや
ヒマだろ
そーね
あんたら僕の意見無視っスか!!
あ…ありがとうございますっ 春原さん…!!
パァァァァァ
ナイス
あ!? うんっ まかせといてよっ!!

CLANNAD
-クラナド-
オフィシャルコミック


昔の夢を見た
連れられて行った一面の花畑
わぁ
みてよ
すごいねえ。
ほらほら
あまり遠くに行くと危ないぞ
ほら朋也
あの時当たり前のように守ってくれた存在
――だけど
今ではもうどんな顔をしていたのか思い出せない


第8回
～そして、辿り着く場所～


朋也くん?
……くん
はっ
どうかしましたか…?
──あ ああ なんでもないよ
ふぅ…
…それで? 仁科がどうしたって?
あ はい その せっかく演劇部ができたので
今度の創立者祭にわたしたちも出てみないかって
創立者祭といえば一般の方も多く来られますし
ちょうどいい機会ですし
…日にちはあまりないんですがそこで劇をやってみないかって
へえ…
──朋也くんはどうでしょうか…


…ああ いいんじゃないか
やりたかったんだろ？
は はいっ すごく やりたいですっ！
ぜひ 頑張りたいですっ!!
なら 手伝うさ 言ったろ？
ま、雑用メインだけどな
…で 創立者祭っていつだ？
来週の日曜日です
…ってなに――っ!!?
おま…っ あと10日ぐらいしかないじゃないかっっ!!
はい… ちょうど あと10日です
めいっぱい練習しても間に合うかどうか…!!
しゅん
……
やっぱり… 無理でしょうか…
つーか俺ら… 付き合いたてだよな…!?
心の叫び
く…っ
そうは… 言ってないだろ…!?


――……
いいか渚っ！
はいっ!?
だからさ…っ
むちゃくちゃめいっぱい頑張れよ？
わ…わかりましたっ
むちゃくちゃめいっぱい頑張りますっ!!
ガクー
……ああ
ま…仕方ねえか
頑張って成功させますっ
ああ…その意気その意気…
演劇部活動初日――
10日後の創立者祭の向けて気持ちを新たにする一方で
放課後が楽しみですっ
そーか ハハハ
ひとつの問題が浮上していた
え


ザワ
ザワ
うん
岡崎くんなら朝いたよ
カバン置いてそれから見てないけど
そう…何やってのかしら あのバカ
ちっ
…お姉ちゃん
私の事なら気にしないでね
ドキッ
え!?
私のは ただの憧れだってわかったし
今もきっと演劇部
…渚さんと一緒だと思う
…で でもっ
だって
そんなのいいの椋…っ
椋がよくても あたし…
……え?
びくっ
おー～もうっ!!


よ…陽平!! アンタもっ! 何今頃来てんのよっ!! 全く役に立たないわねっっ
ガバッ
お姉ちゃん…
ひぃぃっ!?
よくわからないけど僕とばっちりですかっっ!?
これでも珍しく早いんですけどっ
あ 岡崎くん
びくっ
…?
…何してんだ? そろいもそろって…
お… 岡崎 それが
べっ別に 陽平ってヘタレよねーって しみじみ思って!!
ふーん… それはいいけど早く帰れよ
――そういえば
どう? 演劇部
あ? 唐突になんだよ…
や あれからどうしたかな～って …行ってたんでしょ?
………


──ああ…
まぁなー
ふ〜〜…
実は あれから仁科が来てさ
…で 創立者祭で劇やる事に決まったわ
──ちょ
そ
創立者祭って来週じゃない!? 時間…っ
大丈夫なのっ!? そもそも素人なんでしょ 渚っ!?
仕方ねーだろっ その渚がやりたいって言ってんだからさ!
カチーン
ひ…っ
人が心配してあげてるのに何よその言い方っ!!
ゴッ
ああそう! せいぜい頑張ることねっ!!
ガラッ ガラッ ピシャン
な なんだよ アイツ…


…岡崎ってさ 意外と 結構 ニブいよね…
ああ？ なんつった 春原
いや… なんでも
…あ
…たく テキトーよね あいつ
ヤル気 あんのかしら
ん？
お姉ちゃん
もしかして 本当は 岡崎くんの事──
あはっ
やーね－!! そんなワケないじゃないのっ 考えすぎよ 椋！
…そうなの？
そーよ!!
…あたしは これっぽっちも
朋也の事なんか なんとも思って ないんだからっ



み…
みなさんっ
カチーン
コチーン
今日は演劇部の活動初日です
えっと
来てくださってありがとうございます…っ
渚ちゃんっ
もっと力抜いた方がいいんじゃないかなっ
不安
……
──はいっ
創立者祭に参加するんじゃったの
あまり時間もないが…大丈夫かの？
これまで休みがちで学芸会にも出られなかったわたしの夢ですから…
応援してくれた皆さんの為にも一生懸命頑張りたいですっ


ふむ…
ふむ
…では 劇の希望は何かあるかの？
希望ですか…
―実は
演劇がやりたいという気持ちばかりで…その
演劇の詳しい事なんて 何ひとつわからないんです
なにいい――!!?
ど――ん
ほっほっほ そりゃどうしたもんかな
笑い事じゃねえだろジジイ!!
はぁぁ～～
くわっ
…とにかく 例えば 好きな話とかあるだろ？ そうだな 短い方がいいと思う
それならあります
ほっほっほ それなら その話を演劇の台本用に作りかえれば良い 合唱部も協力すると言っておった


ちょ…
なんでそこで合唱部が…
バカモノ
劇に音楽はつきものじゃろうて
ほー
それ以外にも劇に必要なのは
衣装・照明
大道具なんかじゃな
はいっ
裏方は僕らにまかせといてよ
渚ちゃん
俺も
本当ですかっ
ありがとうございます
わい
わい
あ、でも
そうなると
ひとりですね
いいじゃん
一人芝居!
カッコイイよね
劇団ひとりみたいで
―――……
ふと
自分の言葉を
思い出した
……
これから
毎日が
楽しくなる
じゃーねー
渚ちゃん
岡崎っ
はいっ
さようなら
おー


ぽわ〜ん
さようなら〜
朋也くんっ
くる
なんだ
すっごく楽しいです！部活!!
そっかよかったな
…でもまぁそのうちそうも言ってられなくなるかもしれないぞ？
あ…そうでした…すごく頑張らないと…っ
…でも本当に楽しかったです
毎日こうならすごく嬉しいです
朋也くんの言った通りです
一緒だ
渚と一緒ならなんだって楽しい
そうだろ


あ 朋也くん 犬ですっ
おホントだ
渚はずいぶんと変わつた
お腹とかすいてないでしょうか
自分から前向きに歩いて行けるようになつた
それは全部渚が頑張つたからだ
問題に直面してもあきらめない強さを持つていたんだ
──俺もそうだといい
一緒にいる事で変わる事ができればいい


──そんな事が本当に
できるのだろうか
……
何してんだ父さん…？
──朋也くんかい…？
ちょうどよかった…
家の中でこんな物を見つけたんだよ…
なんだと思うかい？
ドクン
それ・
お星様みたいだねぇ…
それは…風子の──
──欲しけりゃやるよ


朋也くんのもの だったのかい…？
…ああ 友達から もらったんだ 欲しいなら… 父さんにあげるよ
…おやおや…
ありがとう…
朋也くんは 優しいねぇ…
――変われている だろうか


ザワ
ザワ
あー だりー
さて 今日も練習だからな 行くぞ春原っ
へ〜〜〜い
ぽんっ
はい
岡崎は そのまま家に帰るぞー
な
担任の乾…!!
なんで…っ!?
なんでって… こないだ春原とは面接したからな…
順番的に次はお前だろ?
あ〜あ
今日こそは親御さんも交えて三者面談だからな〜
冗談じゃねえ…!!
ちょ… 急用を思い出したっ
おっと そうはいかんぞ岡崎!!
い…いや マジなんすよ



部活なんすよ すっげぇ時間ないし 俺がいないと練習できねぇし…
また後日っつーことで
じゃあ そっちは春原に行ってもらえ こいつも部員だろ
岡崎は今日はこっちだ
な
はは 岡崎 あきらめなって
ああ お前 部活始めたんだっけ 先生も聞いてるぞ
ちっ…
こうなったら最後の手段…
逃げるっ
ダッ
あ!!
コラ 岡崎っ!! 無駄だぞっ
三者面談なんてやってられっか!!
ザワ
ザワ
渚!
渚っ!!



追われてるんだっ
一緒に逃げるぞ!!
えぇえ
す…春原さんですか…っ!?
あ
…っと…まぁ
似たようなモンだ!!
そ…
そうですか!
わかりましたっ
…よしっ
いったん
離れて
ほとぼりが
冷めた頃に
戻れば
大丈夫だろ…
ピンポンパンポーン
あー
3-D
岡崎朋也
岡崎朋也
大至急
職員室まで~~~
岡崎―――!
逃げようと
しても
無駄だからな~
だぁあっ
…!
…いや
違うぞ?
渚…
朋也くん
嘘つきました…
…はは…
あーもー
どうにでも
してくれ…
ぷん


職員室
いや〜〜〜 ありがとうな 助かったよ
ずう〜ん
いえ 朋也くんが悪いんですから当然ですっ
しかし 岡崎がこんな真面目そうな子に連れて来られるとはね…
丸くなったなぁ お前
ニヤ ニヤ
へぇ〜
面白がってんじゃねぇよ……
ま 時間もないしそろそろ行くか
マジかよ…
ギッ
当たり前だ
あ そうそう
よかったら君も来てくれないか?
岡崎が途中で逃げ出さないように見ててくれ
はあっ!?
か 関係ないだろっ!? こいつはっっ!!
なんだよ 付き合ってるんだろ 関係ない事もないと思うぞ


付き合ってるんだろ?
――っ
は はいっ
わたしなんかでよければっ!!
あーーあ
……
知らねーぞ…
ボソ
…?
だーかーらー
今行っても親父はいないんだって!
無駄だって!
それなら帰ってくるまで待たせてもらうさ
とにかく一度ちゃんと話をしないとな!!
だから話とか無駄だって…!!
ああ くそ!!
っつか なんだよ!
この組み合わせっ
ありえん!!
あ でも
朋也くんちに行くのは初めてですね
ちょっと緊張します――


――……
でもな……
…できれば見せたくなかったよ
俺は
おーい この先だろー? 待たせてもらうぞ〜
朋也くん…?
――ずっとケンカしてると言い訳してたけど
――あの人とはもう何年も家族じゃない
親って事放棄してんだ


…もう何年も 俺の事 他人扱いで…
ずっと… もう ずっと そうなんだよ
―ですから お父さんの方から 息子さんへ一度…
―あ いや 進学とか就職とか それもありますが――
…どうしてだい？
いや ですから 保護者の方から 話して頂けたらと――…
そんな事… 私から言う なんて とんでもない…
は…？
朋也くんは 朋也くん 私は私…
朋也くんの事は 朋也くん本人が 決めるでしょう…



では…
そういう事なんで私はこれで…
あ…ちょ ちょっと岡崎さん！
……
ギリ
朋也くんっ
はっ
と…っ朋也くん!!


ハァ
ガシャ
ハァ
ドクン
ドクン
──は…!
あの場に居られなかった
──もう何年も前からああだった
──でも
あの人にとって俺は家族ではなく都合の良い話相手でただの同居人
…俺が変われば少しは何か変わるかと思った
それもダメだったんだ…!!


話し合いなんか通用しないんだ！
俺が渚と会って変わった事も…
頑張ってきた事も全部ムダだった…!!
…朋也くん…
そんな…
ムダなんかじゃ…
親父が…
あの人がいる限り 俺は――


――……
朋也くん…わたしの家に来ませんか
…そうしませんか？



朋也くん
…うん…
それにつられるように
俺は
とても素直に
うなずいていた
渚の手から
あたたかいものが
広がっていく


——……
…おや どうしたんだい 朋也くん…
その荷物… どこかへ お出かけかい…？
——ああ
俺 今日から 友達んちに 寝泊まりするからさ…


――…
だから
この家にも しばらく 帰ってこないよ
…そうか…
さびしく なるねぇ…
ドクン
――これは 家出だ
ぎゅっ
ガラ


さよなら 父さん
止められる事すら なかった
あ
なんだよ 危ねぇから 中で待ってろって 言ったろ
いえ 大丈夫ですっ
荷物は これだけ ですか？
ああ 大したモンは ないよ
お父さんも お母さんも 構わないって…
むしろ 大歓迎だって 言ってました
そっか… あの人達なら そう言いそうだな
はいっ
オッサンは ともかく



では
行きましょう
朋也くん
あ
渚
さら…
…サンキュ
世話になるな
はい…
こちらこそ
よろしく
お願いします
少しの痛みと
手のひらに残る
温もりを
連れて行く
あたたかさに
満ちた家へ

第9回（だいかい）
～ひとりじゃない～




ガチャン
よっ…と
よしっ
今日も上出来だな
うわっ
なんだこの色のパン
早苗パンも絶好調だな オイ
おはようございます
お父さんっ
ぴょん
お渚か おはようさん
なんだ 早えな もうそんな時間か？
あ ち 違いますっ
ただ わたしが いつもより 早起きだっただけで…


早起き？
ふふっ
渚は岡崎さんがいるから恥ずかしいんですよねっ
お…お母さんっっ
なっ
な…っなにゆって…
カァ〜〜
ふふふ
も…もうっ！
わたし朋也くんを起こしてきますっ
タッ
はいはい朝ごはんできてますからね
ふたりは仲良しですね秋生さんっ
秋生さん？
ーーという事で
朋也くんがこの家に住む事になりました
ひゃ〜っ
恥ずかしいですっ見透かされてました…
顔に出ちゃってるんでしょうか…っ
ぱた
ぱた
その方がいい場合もあるんだと思います
家族と離れて過ごすのは悲しい事ですけど


――でも
それ以外にも
コンコン
朋也くん
おはようございます
ドキドキ
朋也くんと一緒の時間が増えるのが――…
…ん
ああ
よう 渚 おはよう
はい…えっと…
あ 朝ごはんできてます
ドキッ
ドキドキドキ
わたしは朝からドキドキしっぱなしです
かあああっ
す…すいません わたし自分勝手かもしれませんっ
…はぁ?
コラ小僧っ!! 渚にエロい事したらチョン切るぞっ!!
ブブッ
あ…お父さんです…
えーと…
気にしないでください 朋也くん
やそれ無理だから
だらだら



行ってきます お父さん
ああ 行ってこいな!
——って
ちょっと待て 小僧 忘れもんだ
——え
あいさつだよ あいさつ!
あいさつも できねーのか? あん?
チ○コ 付いてんだろ てめえ
関係ないだろ チ○コはっ
あー はいはいっ!!
い… 行ってきます!! いいかっこれで!!
おう! かまして来いよ!!
しかし …変な感じ だな…
そうなん ですか…?
あいさつとか… そんな習慣 なかったからな
ちょっと 気恥ずかしいっつーか…



…けど
そう思ってるのは俺だけかもしれないな…
——しかしアレだ…
気が抜けんな…
ああっそうですね…っ
毎日が穏やかに
このまま　何事もなく過ぎてほしいと思いました
……困った
むぅ。。。
誰かそこの人！
ドキッ
ここだ ここ
すまないがドアを開けてくれないか
さ坂上さんっ
フラ
フラ
ふう
ありがとう古河さん
ちょうど手がふさがっていてな助かったぞ
オマケに全然人が通らなくてな
どうする気だったんでしょう…
あいえ
すごい量ですね…
うん
もうすぐ選挙戦だからな…
私も手伝ってるがまだ忙しくなりそうだ



大変なんですね
何を言う
大変なのはそっちだろう
部ができたばかりで大変だと思うが頑張るんだぞ
私も手伝えたらいいんだが見ての通りでな…
ずしっ…
そんな…っ
坂上さんが生徒会長になるの応援してますからっ
——百人力だ ありがとう
そうだ
ここからはよく見えないが校門の桜並木があるだろう？
あれは近いうちに切られてしまう桜の木なんだ
…でも私は絶対に阻止する
あの桜並木は残す
そのためにも必ず生徒会長になってみせる
——……
…夢なんですか？


ああ
あれを見せたい奴がいるんだ
――……
坂上さんは強い方です
む……!? 強い……!?
ビクッ
はい うらやましいです
とても素敵だと思います
わたしは…ひとりじゃ何もできませんから…
何を言う
古河さんが頑張っているのはちゃんと見てるぞ
それに…今はひとりじゃないはずだ
――はい



――……しかし
その一番近いメンバーがあのふたりってな…
うーん
だっ大丈夫ですよっ
朋也くんも春原さんもいてくれるので頑張れますからっ!
うん だから不安なんだが
ガチャ
よっ
ガチャ
おっ
ととと
ガチャ
ガチャ
不安要素その1
あー重かった
渚ちゃん照明機材運んで来たよっ
バカ お前もっと慎重に運べよ
壊れるだろっ
後でそれ体育館な
不安要素その2
よいしょ
ガチャ
照明
ありがとうございました春原さん
しかしそんな時期か…うるさいんだよなアレ
んん? なんの話?


あえっと
坂上さんが
選挙に——
なに お前の
存在が
うるさいって話だ
ひいぃっ
存在否定!?
——ていうかっ
渚ちゃんっ
あの智代と
友達なの!?
ダメ絶対!!
暴力的な
部分が
うつったら
どーすんのっ!!?
え え
ぐわ
…アンタのが
うつるより
マシでしょ
ピク
なっ!?
古河先輩
音楽の方は
まかせて下さいね
あいつ
意外と
話分かるな
つーか
グルかよ
お前らっ
てめ…!!
杉坂なんて…
うむ
その通りだ
気をつけろよ
お前らも
はい
帰ったら
うがいします
僕
ウィルス扱い
ですかっっ!!?
りえちゃん
一通り
クラシックは
わかるし
曲に合わせて
編曲とかも
やっちゃうんですから
へぇー
凄いですっ
あまり
大した事は
できませんけど
ケッ
自分じゃ
ねえのに
でかい顔
してんじゃねえよ
ブーブー


キッ
ひっ
ビクッ
め…目がっ
目が怖いって!!
ひいい!!
ダッ
仁科さん達がいてくれて本当によかったです
わたし演劇は知らない事ばかりでしたから…
いえお役に立ててて光栄ですよ～
ほのぼの
お～
朋也くん
ん？
あの…劇の話なんですけど
シナリオを書いてきたんです
聞いてもらえますか？
ああ
…有名な話なのか？
いえ多分知らないと思います
どんな話なんだ？
…
―冬の悲しいお話です
昔わたしが本か何かで聞いた話です
世界にたったひとりきりの少女の物語


それは とても美しくて
広い世界に たったひとり
それは どんなに悲しい 物語でしょう
悲しい 幻想世界なんです
それは ひとりの少女が いる所から 始まります
たったひとりの 少女は 寂しくて 悲しくて
ある時 強く願ったんです
「友達が欲しい」


その世界は　誰もいませんでしたが
ガラクタが落ちていました
少女はガラクタを拾って
集めて
友達を作ろうと思いました
くる日も
くる日も
ひとりでも
あきらめず
ガラクタを集めます
少女は
ずっと　ずっと
願いました
すると
不思議な事が
起こりました
ガラクタは
ひとりで
動き出します
少女は
駆けよって
抱きしめました
──そして
少女はひとりきりじゃ
なくなりました
…という
お話です



…ダメでしょうか…
――あ
いや……
――……
渚 その話 どこで――……
あ… わたしもよく覚えてないんですが 小さい頃に聞いた記憶があって――……
…なんか中途ハンパな物語ですね
もっとさぁ 敵とか出して ズババーンって感じなら 面白いんじゃない？
聞いた事のない お話です 世界観とか聞かせてもらって いいですか？
それだと ヒーローショーに なっちゃいますね…
あ…はい
なんか いい曲 ありそう？
うん 大丈夫だよ
――……


――朋也くんが
どうしてあれほど反応したのかわかりませんでした
なんだったんでしょう…
あの話の出所を気にしてたようですが――…
家の物置とか探してみるのもいいかもです
…わたしもよく覚えてはいないのですが…
――けれど
この話を思い出すとき共に思い浮かぶのは
小さかった頃のわたしと寒かった季節に
とても幸せそうな両親の顔
幸せそうで
ひどく悲しそうなイメージで
――なのに



物語の先はどこにつながっているのでしょうか
ガチャ
お
なんだ…小僧か…
ばったり
む
なんだオッサンか…
なんだぁ ブラブラとヒマそうにしやがって
ヒマなら手伝え むしろ俺をヒマにしろ!!
ムチャ言うなっ 好きでブラブラしてんじゃねーや
あん?
早苗さんが客間を使ってるから出てるんだ 塾やってるだろ?
…ああ 客間は小僧の部屋だったか…
うお!?
驚いたぞ 部屋が急にガキだらけになった時は…
塾なんて全然知らなかったしな…
じぃ…


——そうだ オッサン
あんた 渚に 本を読んだ事が あるか？
本？ なんの？
なんだそりゃ 覚えてねーな
何故か 気になって たまらなかった
ちゃんと 思い出してくれ 頼む
世界に ひとりきりの 少女の話だ
本じゃないかも しれない——…… 渚に聞かせた話で 同じようなのだ
ずっと 引っかかっているんだ
カチッ
——……
気になるなら 物置にでも 行ってみるんだな
古いモンなら 大体あそこだ
…ああ わかった
サンキュ
ふうっ
——いや やっぱり 記憶にねぇな…
待て 小僧
探すつもり なら 条件がある



渚とは探すな
わかった事は俺に先に話せ
いいか小僧約束しろ
そんかわし夜探す時俺が手伝ってやる
…なんで
あ?
あの話――…なんかマズい事でもあんのかよっ!?
ちっ
そういうんじゃねーよ…
メンドくせーな
知ってるだろ渚は昔死にかけた事がある
え…
ドキッ
――あいつはな俺達ふたりにとって夢なんだよ
情けない話だが一度失いかけて気づいたんだ
それまで仕事にかまけて近くにいてやれなくてな…
早苗とふたり渚の為に生きようって決めたんだ


大変だったぜ パン屋を一から始めるのも
それまでに比べりゃ ずっと近くで 見ていられるから 全然構わなかったけどな
——ああ そうだったのか
大切な人のそばで 大切な人の 夢を願う
あそこに あるのは そういう 昔の 俺達の思い出だ
だけどそれ 渚が聞いたら 悲しむだろ
俺達が夢を あきらめたのは 自分のせいって思うだろう
この人達も 俺と同じなんだ
だから 内緒にしとけ 小僧
な
だけど
——ああ 渚には 内緒にしとく
家族とは これほどまでに 強いものだったのか
そうか 頼むぞ



…しかし
なんだってオマエ
あんなトコで
エロ本なんて
探してるんだ?
はぁあっっ!!?
どーん
アンタ人の話
聞いてんのかっ!!?
誰がンなモン探すかっ
あんだとう!!?
違うなら最初から
そう言いやがれ!!!
最初っから
んな話
しとらんわっ!!
バカヤロウ!!
そう思って話した
俺の立場は
どうなるっっ
おふたりとも——っ
もう少し小声で
お話ししてくださいね〜っ
ふふ
2人とも
仲良しですねっ
はいっ
良かったです
そして
その家族の中に
俺という異分子が
まぎれこんでいる事が
〜みろ
オマエのせいで
早苗に怒られた
じゃねーかっ
気恥ずかしくもあり
申し訳ないと思った
コ
コン
…



渚
岡崎さん
お茶が入りましたよ
あ…わざわざありがとうございます
何か書いてたんですか？
はい 演劇のシナリオを書いてたんで見てもらってましたっ
そうですかっありがとうございます
はぁ…
ところで岡崎さん
明日の予定は空いてますか？
――え
ズキン
明日 せっかくのお休みですから皆で遊びに行きましょう
お弁当とか作るんですか？
もちろんですよ
皆で外で食べましょう
――…っ
楽しそうです朋也くんっ



あ…でも 俺――
大丈夫ですよ 演劇の練習も 1日くらいお休みしても
そうですよね 岡崎さん
あ…
はっ
え… ええ――…
遠慮なんてしないでください 岡崎さん
…遠慮しないでください
はい…
まただ
また 俺は この家族に甘えてしまう
せめて これ以上は 気を使わせたくなかった
で
僕ならいいって事ですかっ


いいだろ別に…
お前の部屋は
俺の部屋だろ
もぞっ
…まぁ
いつもの事
だけどさっ
渚ちゃんが
心配するんじゃ
ないの?
ぐっ
渚ちゃん
傷つくんじゃない?
うるせーよ
馬鹿
そこの本
とってくれ
馬鹿
あ
ビンゴ?
僕が
傷つきますねっ
あーそう
つーか
ハタから
見たら
うらやましいくらい
頼られてんのに
何がそんなに
不満なのかね…
いざとなって
いなくなってちゃ
悲しくない?
…いいんだよ
ただいるだけじゃ
色々と向こうも
迷惑だろ
迷惑だって
言われたの?
いや…
んな事
言われねーけど


要するに岡崎ひとりで立ちまわってんだ
でもさそれって逆効果だと思うね
ピク
…何が？
渚ちゃんひとりでも頑張れるって思ってんのかもしれないけどさ
そりゃ岡崎がいるからでしょ
だからひとりでも頑張れるって言ってたじゃん
反面岡崎に対してはいつも不安なんじゃない？
急にいなくなったりしないか…とか嫌われないか…とかさ
そこには自信が持てないって事だと思うよ
…僕の言ってる事わからないなら長くないよ お前ら
ふぁ〜あ
…春原
うん…？
お前がホモだってデマだけは取り消してやるからな
ガーン
ナニソレ!!
どっから出たんだよそんな話っっ!!


──くそっ
なんて馬鹿だったんだ
甘えてしまっていた
変に気を使って一番肝心な所で失敗するところだった
ちゃんと言わないといけない
──渚…
ハァ
ハァ
…朋也くん
おかえりなさい
…渚


…はい…
…だって朋也くんは優しいし
女の子の友達も多いので…
かっこいいですし…
それにわたし——…
ひとりじゃ何もできないし
足を引っぱって嫌われないか…とか心配で——
ぱっ
お前さ…っ
不安なのか!?
——今でも
——


——俺さ
たぶん
渚が思ってるより ずっと
渚の事が好きだ
好きな子にこんなにも想われている事が
大好きだ
心のどこかで安心していたのかもしれない
——あ


わたしも…です…
だけど それに甘えてちゃ いけないんだ
…なんだ ありゃ…
小僧…!! いい度胸 してやがる…!!
ふたりとも 仲直りした みたいですねっ
じゃあ あの辺で お弁当に しましょう
そういえば 渚
お!? 渚だって
春原が ホモだって アレ嘘な
え…っ!!?


――……
やっぱ見つかるわけねーか
渚から聞かされた話が気になった俺はひとり図書室にいた
…似合わないのは自分が一番よくわかっている
…授業中で正解だな…
んーと…
ガラッ
!?


…あ
ドキッ
…こんにちは…?
…こんにちは

第10回
～カウントダウン～





あ なんだ
来てたんだ
岡崎
サボリ?
ああ
ガタ
ちぇー
僕もそうすりゃよかったよ
岡崎くんっ
なんだ委員長か
あの…これ
さっき配られたプリントです
ああ…サンキュ
…それと
サボリは良くないと思います
…でもな
サボリは俺だけじゃなかったぜ?
え?
しかも3年の女子だ
先にそっちを注意してやれ


へえっ 僕たち以外にもそんな奴いたんだ
ああ! 堂々としてたしかなりの常習犯だな ありゃ
…もしかして図書室へ行きませんでした?
それ…本当ですか?
こんな髪形の子じゃありませんでした?
こーーんな
…ああ ぼんやりした感じの奴だ
…知ってるのか?
3-Aの一ノ瀬さんだと思います
たぶん間違いなく
一ノ瀬?
ああ…あの授業免除ってヤツか
はい おそらく
なんだ春原知り合いか?
知り合いなわきゃないでしょっ
岡崎マジで知らないの!?


一ノ瀬っていやあ 一ノ瀬ことみ!!
ムチャクチャ秀才だかなんだか知らないけど僕らと同じ授業受けなくていいってさ!!
本読んでる方が勉強になるんじゃない!? まったくうらやましい話だよね!!
へー…
春原的イメージ
ちなみに成績は全国でトップ10だってさ
トップ10!?
マジ!?
なんてこった… 実際にそんな奴が存在したとは…!!
くっ
だよねっ 架空の人物じゃなかったんだよ!?
まーな
ははは
まそんなガリ勉女 僕らは関わる事もないだろうけどねっ
だけど…
そうだ あいつなら何か知ってるんじゃ
その時何故だか



一ノ瀬とは
また会いそうな
気がしていたのだった
あ
それ
美味しそう〜〜〜
ん？
いる？
ザワ
ザワ
いる──
やった
杏のお弁当スキー
あ
こっちのも
美味しそうだね
いーわよー
好きなの
取ってって
ハァ…
──…
毎日 自分で
作ってるんでしょ？
私にゃムリだわ〜
そう？
好きなモノ
入れられるし
楽しいわよ〜
杏──
これ何？
ガタッ
あ それ
美味しいでしょ？
それはねー豚バラを
1日タレにつけて──…


…それから
朝に ぱーっと 炒めるだけ なんだけどね…
へーーっ 私でもできるかも！
あはははは
ユウちゃんは 早起きから できるように ならなきゃねく
ひど〜い
ははは
ねぇ 杏ーー…
…杏？
えっ
何!?
はっ
どうしたのっ!?
えっ ごめん…
びくっ
どうしたのって …どうしたの？


えいや
なんでもない
ガタッ
え――…
なんでもないって
顔じゃなかったよ
そう言うなら
別にいいけど…
う
うん…
あ――
よく聞けよ皆
本番まで
あと数日
なわけだが
イマイチ
緊張感ってのに
欠けるんだよね!
最後まで
気を抜かず
しっかり
働いてくれよ!
以上!!
はいっ
ゴス
ひぎぃ
面白い
遊びだな
何キャラだ?あん?
ひいっ!
ちょっと
やってみたかったん
ですっっ!!
大体 役割分担も
決まって俺らは
用意するものも
ないんだよっっ


役割分担
主演・渚
ボタン押すだけ
音響・朋也
照明・春原
衣装・早苗さん
あ でも
本当にあと少しで あっという間ですね
頑張りましょう 皆さんっ
おいおい
一番頑張るのは 渚だからな 俺らはそれなりにだ
そこんとこ 間違えるなよ？
は…はいっ もちろんですっ
渚ちゃんに 全てかかってるん だからね！
えっ
あ… あのっ
そのっ
しどろ
もどろ
し…
死ぬ気で 頑張りますからっ
いや 死ぬなよ


どうだ渚
演劇の方は
はいっ
頑張ってます
ね
朋也くん
…ああ
ケッ
小僧には
聞いてねぇ
言うと
思った!!
そーか
そーか
頑張ってる
渚に
いいものを
やろう
わぁ
なんでしょうか?
ほれ
演劇のビデオ
参考に
なるだろ
わあっ
ありがとう
ございますっ
ちゃんと見た事
ありませんでしたから
勉強になりますっ
なら
ちょうど
良かったな
明らかに
遅すぎるっっ


ガチャッ
朋也くん 後で一緒に見ましょう
えへへ
ああ…
し
え～と
……
あ
はい…
…そういや 渚
お前 昔 死にかけたって 本当か？
オッサンにきいた
昔の事なので よく覚えてませんけど 奇跡的に助かったらしいです


――……
……もう大丈夫なんだろ？
――はい大丈夫です
ホッ
驚かすなよ…
えへへ…
でもお父さんたちは何も言わないけど
あれからわたし迷惑かけてます
聞くと
いつもはぐらかされてしまいますし
わかるんです


…そっか
…演劇のビデオ
なんだかすごく懐かしい気がします
どうしてでしょうか…
——あ？
渚が気付いてる？
そうだよ何か隠してるって思ってるぞ
ちっ…
あいつ意外とカンが良いからな…
——引き時かもな…
あと演劇のビデオが懐かしいって
あ？お前の言ってた話か？そりゃねーな
即かよ!!


何故なら
今までに渚に見せた演劇なら 俺が全部覚えてるからな
だから絶対にそれはない
……!!
くそ…
投げんなよ
ガサ
ガサ
そうまでして探す理由はないように思う
これは俺の気持ちの問題なんだ
翌日
足は図書室へと向かった
でももう一回だけ
ガタッ
開いてる…


一ノ瀬ことみ…!!
なんだあの
くつろぎつぶりは…
…ん?
じゃきんっ
じょ
お…
オイオイオイ!!
切るなよっっ
じょき
じょき


いきなり何してんだよお前!
一ノ瀬っ
公共物は大切に!!
はっ
ほろほろ
ぴゃーっ
あっ
じーっ
びくびく
…いや丸見えだからな
小動物みてーなヤツ…
…どうやらおびえさせてしまったらしい
…名前…
ん?


…どうして
名前…
ああ…
一ノ瀬だよな
有名人らしいぞ
お前さ
…ま
俺も人の事
言えねーんだけど
逆のイミで
――…
…ことみ
ひらがなみっつで
ことみ
呼ぶときは
ことみちゃん
…呼べと
コク
いや 無理


……!!
ぶわっ
ままてっ
じゃあことみな!!
な!?
ぐす。。。
ちょっと残念なの…
――……
本当にこいつは全国レベルの秀才なのだろうか
天才は非常識って言うしな…
――ってコレ洋書じゃねーか!!
読むだけなら簡単なの
そうだ言ってなかったな
俺3-Dの岡崎朋也だ
どうとでも呼んでくれ
…朋也くんも授業免除?
ば…っ
んなわきゃねぇだろ!!
サボリだよサボリ!!


…いじめる？
びく
びく
いじめねぇから出てこい
あー悪かった悪かった
——お前さ本ばっか読んでんだろ？
世界にひとりきりの少女の話…って聞いた事ないか？
？
ぷる
ぷる
そうか…
そんな事になったら一大事なの人類滅亡の危機…
そもそも世界にひとりなんてそんな事例はありえないの
違うっ!!お話だ！フィクションだっ
リアルにとらえるなっ!!
…おはなし…
…やっぱりわからないの…
…そっか


…お話探してるの？
ん…
でも本当は本じゃないかもしれないんだ 結構探したんだけどな…
そうなの…
あ
よかったらさ 放課後 部活棟の空き教室に来いよ
…？
演劇部なんだ
今週末創立者祭があんだろ あれに出るんだよ
そこでやる劇がさ 今の話を元にしたヤツ だから そっち見た方がわかりやすいかも…
ってそりゃどっちでもいいか
とにかくさ 一度見にこいよ 部長も喜ぶし
じい。。。
はっ


…朋也くん積極的なの
う…うっせー
自分でも驚くほどの積極ぶり――…
そうか…こいつ
最初に会った頃の渚に似てるんだ
…でも
私がいると
みんな気を遣うから…
!
いつもこうしてご本を読むの
ご本に囲まれていればしあわせだから…
だから…ごめんなさい


わたしがいると皆に気を遣わせてしまいますから…
んな事気にすんなよ
…なんだよそれ…!
だからずっとひとりでいるっていうのか!?
——それは悲しい事だ
いいか? ことみ!
放課後絶対に空き教室に来い!!
…約束だぞ? 来なかったら…
大変な事になるからな…!!


ガシャン
?
……
大変…なの…
キーン
カーン
コーン
コーン
あう
あう
ものすごくコワい考えになってしまった→
我ながらすげーおせっかいだと思う
ズンズン
ひとりで本を読もうが劇をしようが関係ないひとりでやってろって感じだ
――けど
むすっ
それを理由に自分からひとりになろうとするのは間違ってる無性に腹が立った
渚も仁科も風子ですらひとりで頑張ってたぞ
コン
コン
…はいっ



ガラッ
…あ
おちゃんと約束通り来たな ことみ
だって…来ないと大変な事になるって…
湾に沈む？
はう はう
まぁ それもありうるな
と 朋也くん!!
大丈夫ですよっ 一ノ瀬さん 朋也くんからお話しは聞いてます
ブワッ
わたしは演劇部部長の古河渚です
創立者祭前なのでちょっとバタバタしてますけど…
よかったらゆっくり見学していってください
……


…ことみ
ひらがなみっつで ことみ 呼ぶときは ことみちゃん
わかりました ことみちゃんですね
A型
A型です
岡崎!! アレ一ノ瀬ことみっ なんで全国レベルの天才が来てんだよ!?
くわっ
なりゆきだ その珍獣でも見るような顔 やめろよ おびえるから
はっ
僕のファニーフェイスを見ておびえるなんて
心を盗まれるの間違いだろっ
やめろ 気持ち悪い
アフリカリウ
ねこさんです
ナナホシテントウ
バッタさんです
…なんか 本当に珍獣っぽいんですけど…
言うなよ…
それでは練習を始めますね
見ててください


どうだった
でしょうか？
ことみちゃん



あ えっと…
渚ちゃん
とってもすごいと思うの
ポッ
ほんとですか…っ ありがとうございます 嬉しいですっ
ホントなの ウソじゃないの
…こ ことみちゃん…
おーーいっ 渚ちゃんっっ
ちょっと来てよ こいつら酷いんだよっ!?
とってもとってもすごいの
なんとか言ってやってよ!
早く早く
あっあの ごめんなさい ことみちゃんっっ


わぁ わぁ
ど…どうしたんですかっ みなさんっ
……
安心しろよ あいつにはちゃんと伝わってるさ
ボッ
ボッ
―ところで
どうだ? やっぱり知らない話だったか?
…うん
本当に悲しいのは――……
…でも 悲しいの
そうだな 悲しい話だな
世界にひとりきりなのは
―誰?


ガラッ
どう？
やってるー!?
！
ぴゃっ
杏!!
やっほー渚
どうかなと思って
手伝いに来たわよ！
…って
ちょっと見ない
うちに人数
増えたわね…
わぁ…！
杏さんも
来てくださった
んですね
なんだ お前
急にさ――…
？
ん？
べつに～
なんなんだ
内緒♡
へへっ



あ 紹介しますね こちら合唱部の
ウジウジ悩むのはもうやめた
もう3年で卒業するのもあっという間なんだから
せめて笑顔でいたいじゃない
だってあたし渚の事も好きなんだもん
仕方ないか…
——ところでその子誰？
あこちら一ノ瀬ことみちゃんです見学に来てくれました
渚の友達だったの？
はいっ
え!? 一ノ瀬ってあの!?
——友達
…そうなの


——なら
あたしとも友達になれるわよね——？
ビクッ
ホラ隠れてないで出てきなさいよ——っっ
——〜〜っ!!!
き杏ちゃんっ優しくしてあげてください——っ
…なんか緊張感ってものがないですね…
はは ま楽しいみたいだしいいんじゃねーの
本番目前なのにね…
成功してほしいですね 本番
…でも
——ああ
ここまで来た
創立者祭まであと1日!!

CLANNAD

-クラナド-

オフィシャルコミック



第11回
～創立者祭～



本番まであと1日――
リハーサル当日
ザク
ザク
――ええ
そっちはそのままで…
当日組み立てます
それから体育館担当はリハの方進めてくれ
――ん？
…ちょっと待ってくれ
久しぶりだなみんな
こんにちは坂上さん
智代か…
ん？
生徒会


明日は本番だな リハは終ったのか?
いや… これからだ
大丈夫か 古河さん――…
ちら
…考えてみたら
…朝から ずっと こんな調子でさ…
…まっ 仕方ないな…
この場で緊張しない渚を想像する方が難しいというものだ
カチン
コチン
古河さん 大丈夫だ!
練習通り やれば必ず 成功するからな
ずいっ
はっ
はいいっ
会長! 時間があまり…
ああ 応援している からな 本番も頑張れっ
たっ
ドキ
ドキ
そっか… 生徒会長に なったんだっけな あいつ…
いつの間にか
はい… 忙しそうです
……
――情けないです わたし…
ぎゅっ
精一杯 頑張りたいと 思います
…ホッ
ああ…


合唱部は準備をしてください
行こう りえちゃん
あ
古河さん 緊張するのは私も一緒です
大丈夫! きっと上手くいきますから
――…
はい…!
頑張りましょうねっ
りえちゃん早くーっ
うんっ
ぱたぱた
思えば合唱部がいて良かつたかもしれない
"みんなで一緒にひとつの事を"というのは
渚ちゃん 人って3回かいてのむといいよっ
もう30人はのんじゃいました
渚にとって叶えたかつた事のひとつだろう
演劇部は準備をしてください――
あ 僕たちだ
行くぞ 渚!
――すぐそこだ


は
はいっ
ーあの頃
坂の下で立ち止まって
しまっていた 渚
願わくば
そのままの笑顔で
夢を叶えてほしいと思った
わぁっ
衣裳が
できてます…！
はいっ
完成しました
サイズも
ちょうどよさそう
ですねっ
ああ ありがとう
ございますっ
ピッタリです
じゃんっ
今日は
リハーサルだったん
ですよね
どうでしたか？
あ…っ
そ その…
かぁ…
大丈夫
いつも通り
ちゃんと
やれてましたよ


そーかそーか
プロ顔負けだったか
いえ
そこまでは
はっはっは
な
なんだ
てめぇ──っ!!
げっ
オッサン…!!
つか親馬鹿
すぎるっての…!
本番終ったら
事務所から
スカウトだろ!?
渚サイコーだろっ!?
おぉ!?
朋也くんは
そんな事
言わないですっ
…けっ
小僧も子供が
できたら
こうならぁ
いや…
ならねぇよ
あでも
朋也くんも
そう
なりそうです
はぁ!?
おま…っ
何言って…
だって…
朋也くんと
お父さん…
そっくりです
口が悪いのに
優しいとことか
同じです
!!
ザス
ドスッ
渚…
父さんすごく
ショックだ…
うぉぉ
おぉ…
本人の目の前で
言わんでください!


トン
トン
朋也くん…
すみません…
もう寝ますか？
いや
大丈夫
入れよ
はい…
ちょこん
眠れねーんだろ？
はい…
すみません
いーって
逆にお前が ぐっすり
寝てる方が驚くよ
心配すんな
今日だって
ちゃんとできたろ
…でも
——…
わたし…
ずっと
考えていた事が
あるんです
それは お父さんと
お母さんの過去の事
なんです
え…



ドキン
ドキン
以前に言った話…覚えていますか?
お父さん達が過去の話をしてくれないって事
──それって…
…わたしに隠してるって事は何か引け目があるんだと思います
お父さんとお母さんは優しいですから
オッサンの言葉が頭をかすめる
…だから余計にわたし
ふたりに謝らなくちゃいけないんです…
〝自分のせいで夢をあきらめたって思うだろ…!?〟
〝──もしそれを知ったら傷つくだろ〟
朋也くん何か知ってるんですか?
…んな事知ってるはずないだろ
…いっその事打ちあけてしまっても──…


…いいか
渚――……
…お前は本番前で不安定になってるんだ
ただでさえ自分に悪い方に考えるだろ？それなんだよ
――……
…明日は本番だし寝た方がいい
眠れないなら俺が近くにいてやるから
…な？
今の渚なら本当の事を聞いても受けとめられるかもしれない
――渚
――でも今日じゃなくてもいいはずだ
あのっ
すくっ
!?


すみません 朋也くん
…!?
わたし 部屋に戻りますね 朋也くんも 早く寝た方が いいです
実は さっきから すごく眠いんです
ま…待てっ
本当に それで 眠れるのか…!?
渚っ
はい なんせ 凄く 眠いんです
――せめて 渚が 起きてこないように 物音がしたら すぐに駆けつけて 行けるようにと
おやすみなさい
一晩中 ずっと耳を 澄ませていた


――ん…
いつの間にか眠って…
ゴソ…
今…何時だ
――まてよ?
今 俺は物音で目が覚めたんじゃなかったか――
ガバ
渚…っ
――渚…


何…してんだ…
寝なかったのかよ…？
…朋也くん
聞いてください
散らばった写真…
ノート…
映し出されたビデオ――
今日は大切な日なんだろ…？
…わたしが病気になる前まで…
お父さんは役者さん
お母さんは先生をやっていたんです
やりたい事…やれていたんです
――夢を叶えていたんです――…
…渚
わたしのせいです
わたしの身体が弱いせいで…
渚
それは違う…！
違う!!
優しすぎる家族
だからこそ――辛い


だって…ふたりとも夢叶えていたんです
あきらめないといけなくなったのはわたしのせいです…っ
渚っっ
そんな事今まで気付きもしなかつた
――……
パタン…
…くそ最悪の結果じゃねぇか…
今…早苗さんがそばにいてくれてるよ
ゴ…
全部…裏目に出ちまった


…くそ…
オッサンの辛さも
…オッサン
あんたはいい父親だよ
叶えてやってくれ頼むぜ…
誰のせいでもないこんなものは
――くそっ
どうして今日なんだよ…!!
ふわあぁっ
ねみぃ……


あまりの眠さに照明のスイッチをディスコみたいにフィーバーさせちゃいそうだよ…
すげぇダサいからな…
……
――アレ？
お前はいつも通りでいてくれ…
こっちでなんとかするから
あ…そ
ちょっと岡崎…
渚ちゃんどうしたの？変じゃない？
ちょっとな…
そんくらい眠いってこった
あ 本当にはやらないから安心してよね渚ちゃん！
渚ちゃんっ
緊張してる？新しいおまじない教えてあげよっか？
あ…はい
……！
余計な事まで考えるな…渚
もうすぐ本番なんだぞ――……



ザワ
ザワ
うわ…すっげえ人入ってるよ…
ぼ僕ちょっとトイレね…
ああ
——…渚
ほら…あと少しだぞ
台本読まないと…な
これが終わったら打ち上げしよう!
杏とか智代とか合唱部とかみんな呼んでさ!
お前がどうしてもって言うなら春原も入れてやってもいいや
みんなでパーッと騒ごう!
…早苗さんやオッサンも呼んでさ…!
楽しいぞ絶対
——…


…そう…
でしょうか…
ああ 当たり前だ!
だから… やりとげような
——はい…
その後
渚に会わせてしまわないようオッサンと早苗さんを捜した
ふたりは本当に優しいから
今の渚にはそれが辛いはずだから——
結局オッサンは見つからなかった


——あ！
どこ行ってたんだよ岡崎!!
すまん…渚は？
とっくに着がえてスソで台本読んでるよ！
もう始まるぜっ
じゃあしっかりやれよ照明係
パシッ…
そっちも頼むぜ音響さんっ
次は演劇部による上演です
ザワ
ザワ
ザワ
カッ
ワッ…
パチ
パチ
パチ
パチ


しん…
…渚！
…？
…ザワ
ザワ
ザワ
──演じろ…
渚…!!
……


…そんなこと　できないです…


ザワ
ザワ
……っ
知らず知らず
大事な人の夢を犠牲にしていた渚
ザワ
う…
ザワ
うぁ…
うっ
うう
ザワ
それは…
今までで一番
辛い泣き方だった
う…っ
…もう無理
なのか…!?
あんなに
頑張って
きたのに——
うぁ…う


夢を叶えろ
渚ぁぁぁぁー!!!
オッサン…!!
出院かっ…
おめぇは…っ
子の夢が
親の夢なんだよっ
おまえが
叶えりゃいいんだ!!


俺達は夢をあきらめたんじゃねえっっ!!
あの日からずっと…お前の夢が俺達の夢なんだっ!
親っていうのは――…
家族っていうのはそういうもんなんだよっっ!!!
ここでおめえが挫けたら俺たちゃ落ち込むぞっ てめえ――!!
早苗っ!
どっかにいるんだろ!? おめえも言ってやれっ
オッサン…
渚――っ がんばれ――っ
早苗さんも…
お俺たちも同じだぞ!! 渚っ
ばっ



俺達ができなかった事…
全部お前が背負ってる!!
挫折した想いも…
だから叶えろ!! 渚っ!!
!?
ワッ
頑張れーっ 渚っ!!
頑張ってくださいーっ
がんばれーっ
古河さんっ
ワァァァァァッ
あいつら…
届け
─届け
届いてくれっ


──そして
静まりかえった館内に 物語が紡ぎ出される
美しい幻想世界の始まりだった


——は？
あの物語の続きです
聞かせてくれ
あ
思い出しました
…女の子と人形は旅をするんです
ひとりきりの世界から抜け出すためです
人形はその世界の他に暖かい世界を知っていたから
ふたりで旅をして…
その先で歌を歌うんです
歌？
だから劇の最後にわたしが歌ったのも合ってたんです
歌…ね
でもお前そのふたりだってだんご大家族は歌わんだろ…
だんごっ
だんごっ
だんごっ
あれはわたしの好みです
だろうな…


でも ほほえましいと 思いましたから
まぁ… いいけどさ
オッサンが 呼んでた
家族水いらずで 話があるってさ 行ってこいよ
な?
悲しみは 乗り越えられた だろうか
…はい
でも この家族なら できてしまった溝も すぐに埋めて しまうだろう
あのふたりは 本当に 優しいから
渚だって それはわかってる はずだ
でも… 朋也くんは…
言ったろ 水いらずって
俺の事は いいから 行ってこいよ


――そのかわり
明日の代休は一緒に出かけよう
どんなに辛い事が待ちうけていても
どこでって構わない
ふたりで目一杯遊ぶんだ
次は 俺が支えてやりたい
はいっ
辛さも苦しみも一緒に乗り越えていく

CLANNAD

-クラナド-

オフィシャルコミック



第12回
～ふたり、手をつないで～



遅れてすみません…っ
待ちましたか？
準備に少し手間どってしまって…
朋也くん？
遅れてすみません…待ちましたか…
デートっぽいー!!
じーん
はっ…大丈夫だ全然待ってない
よかったです
創立者祭が終って1日経った
?
…そして渚と付き合いはじめてから10日経った
どれだけ この日を待っただろうか
今日は渚と初デートだっっ
ゴゴゴ



とりあえず今日は10日分――
あ…
あの
もしかして似合ってないでしょうか…
え?
お気に入りのワンピースだったんですが…
いや…
おかしいですか…?
おかしくはない…
かわいい…
って何言わすんだ!!
ほら時間ないから行くぞっ
は…はいっ!
いろんな所に一緒に行きたい
渚の喜ぶ顔が見たい
やりたい事いっぱいだ


渚は この辺 よく遊びに 来たりするか？
いえ…
あまり 来たこと ないです
買い食いとか ちょっと遊ぶのに ちょうどいいんだけどな
だって 道草は よく ありませんから
うわ 固いなー お前
それ 欲しいのか？
よし プレゼントだ 買ってやるよ
お祝いだよ 目標達成の
ええっ!? ダメですっ
それ言うなら 朋也くんもですっ
誕生日でも ないのに プレゼントなんて 受けとれませんっ


その…気持ちは嬉しいですけど…
そういや渚 お前誕生日いつなんだ?
12月24日です
え マジ!?
はい いつもクリスマスと一緒に祝ってもらいます
へぇ
プレゼントしがいのない奴め…
んじゃ クリスマスにはむちゃくちゃでかいだんごのぬいぐるみとかプレゼントしてやるな
ええっ でも…そんな…いいんでしょうか…
当然だろ 彼女なんだし
あ… ありがとうございます…
俺たちは遊びまくつた
10日分とり戻すように笑いあつた


商店街をブラついて
ゲーセンや服屋に
入ったりした
全てが新鮮だった
楽しかった
春原の部屋へ
冷やかしにも
行った
「あんたら幸せそうっスね！」
というツッコミに
ふたりで笑った
そうだ
ここまで来たんだ
学校に
行ってみないか？
学校
ですか…？
でも
制服
着てないです…
ああ
だから
コッソリとな
どうだ？


ガラッ
しん…
…いつも部活の時は皆さんが来てくれてましたから…
わたしたちだけなのは不思議ですね
カラ…
…最初は
ふたりだけだったのにな
…はい
色々な事がありました…
坂の下で出会って



気づけば
多くの友達に囲まれて
ふたりは ここにいる
すっ
…渚
あ
ザッ
するっ
…ど
どうした…?
日直 古河渚


わ…わたし日直になってますっ!!
!?
あ それ俺だ
朋也くんですかっ!!
ああ ずっと前に書いてそのまま忘れてた
まだ残ってたか
忘れないでほしいですっ
――こんなトコに
カッ
カッ
カッ
わたしだけひとりにしないでください
…ほら
こうすればずっと一緒です
日直 古河渚 岡崎朋也



不思議だつた
…ああ!
付き合いはじめた頃より
今の方が
ずつとずつと
好きになつていた
…わたし
こうしていられて
すごく幸せです
は?
いえ…
わたしなんかに
もったいない
くらいです
はー…
それ お前の
悪いクセ
だよな…
そう
ですか…?
考えてみろ
俺が好きな子の事を
毎回否定される
つて事なんだぞ


…それはすごく嫌な感じです
だろ？
だから渚自分の事はうんと褒めてやってくれ
はい…
じゃあさっきのセリフ
はい
あ えっと
朋也くんにはちょうどいいつり合った彼女です…
——ってわたしなんかすっごく嫌味な子みたいです…っ!!
ぽん
ぽん
だははははは
や悪い悪い
はっ
がばっ
——あ…



お前…
熱あんじゃねーか…!!
いえ…大丈夫です…
俺に嘘つくなよっ
…ごめんなさいです 少し…辛いです…
帰るぞ
…ごめんなさいです…
謝るなって
そして最初のデートが終った
カタ
どうですか? 渚――…
大丈夫ですよ ちょっと疲れが出ただけだと思います
ホッ
すいません… 俺が無理させてしまったから…
……



——渚を大切に思ってくれてるんですね
え…
謝らないでください
彼女なんだから当然じゃありませんか
…知ってたんですか…
わかりますよ娘ですから
渚は身体が弱い子ですが…末永くよろしくお願いします
ぺこ
ぺこ
あ いや こちらこそ
ふふっ
大丈夫ですよ岡崎さんがついてくれるなら
翌日
渚の熱は続いたままだった


ぴた
…じゃ 渚行ってくるな
はい…
ケッ
おめえらは新婚夫婦かっ!!
新婚…っ
畜生てめぇ 俺と早苗も 新婚時代に 戻しやがれ
無理です!!
ちっ
…それより 小僧がいても 渚が良くなる わけじゃねーぞ
いいのか 時間
わ… わかってるよっ
行ってくる!!
―…
…そういや ひとりで 登校するのも 久しぶりだな
くそっ オッサン いつか泣かす…


渚のいない学校へ
キーン…
コーン…
ザワ
ザワ
ふぁ…
しかしヒマだ…
ぱく ぱく
ぱぱ
?
キーン
コーン
すぴぴ
つまんね…
昨日はあんなに楽しかったのに


——でさ
気付いたら終ってた
お前は今日どうしてた?
ちゃんと寝てたか?
はい…1日中寝てました
そっか
早く元気になろうな
はい
次の日も渚の熱は下がらなかった
あの…古河先輩は——…
——渚ならまだ熱があって休んでるぞ
そうですか…
なんだ?
あ 部活の話なんですけど



今日は演劇部の番ですけど もし中止なら 幸村先生に合唱部を見てもらっても構わないでしょうか…？
ああ――…
いいよ 渚が休んでる間は 遠慮なく活動してくれ
どーせ俺らだけじゃやらん
わっ
ありがとうございます
――…
〝渚が休んでる間は〟
岡崎ーっ パン食い行こうぜー
…ああ
気付いてしまった
こんなにもたいくつだったなんて
渚…
俺 早くお前と並んで歩きたいよ――…


お医者さんは風邪じゃないかって…
そっか
じゃあ寝てないとな…苦しくないか?
大丈夫です…
朋也くん…
学校どうでした?
俺はたいくつだよ…
お前がいないからな…
ごめんなさいです…
謝ることないさ…
早く良くなるといいな
それから1週間――
2週間経っても渚は寝たままだった


学校は再び
つまらない
場所になった
渚…!!
今日は調子が良さそうなので学校行きます
大丈夫なのか…?
渚がそう言った日も
熱は すぐにぶり返して また部屋に戻された
5月が終わって
6月…
7月…
夏になっても熱は下がらなかった


ジー
ジ
ミーン
ミーン
朋也くん…
外で遊んできてください…
…どうして
夏休みなのにわたしと一緒にいてもおもしろくないです…
ばか俺はお前と一緒にいるだけで楽しいんだよ
でも…
いいんだよ俺の事は
…別の…
別の人と歩いてもいいです
馬鹿っ!!
怒るぞ
治ったら渚と手をつないで歩くんだ
想像すると楽しいだろ?
―…
…だって…
朋也くん…!
わたしなんかが彼女じゃかわいそうです…!!



ひっ…
ひっ
いいんだよ…!!
俺が渚と
いたいんだから…!!
——そして
夏も終わった
2学期が始まって
周りは
進学と就職で
慌ただしくなる
あっはっはははははは
笑いすぎじゃないですかねぇっ
あはははは
だって…!
誰よ
アンタ!!
就職活動
だから?
必死ね
ムキャー!
クスクス
ザワ
ザワ
ザワ



俺はずっと渚の事を考えて外を見ていた
岡崎さん…
渚はもう一度3年生をやらないといけないかもしれません
え…
今のままだと出席日数が足りないので…
留年するという意味です
留年――…
――…
嫌だ…
おめえが嫌だっつってももう仕方ねえんだよ
辛いのは渚だろうが…っ
秋生さん！
辛いのはふたり一緒です
特に岡崎さんはずっと渚の近くにいてくれましたから…
ちっ
…ああ
俺は
――でも
だからこそ
岡崎さんは渚が決める答えを聞いてあげてくださいね


ただ一緒にいたいだけだった
──はい…
24
クリスマス
そして冬が来た
誕生日おめでとう渚!!
ほら俺からのプレゼントだ
わぁ
約束したもんな
手に入れるのすげー大変だったけどさ…
ありがとうですっすごく嬉しいです…!!


ぽろ
ーーっ
ありがとうございます…っ
…こんなわたしのために…っ
こんなじゃねぇお前は大事な家族だ
お前が幸せなら俺たちも幸せになれらぁ
だから幸せになれ
誰よりもな
はい…っがんばります
その頃には渚の留年が決定していたのだった



年があけて――
渚の体調は
回復に向かった
1月が
過ぎて
2月は
ほとんど
一緒にいて
そして
3月


ザワ
ザワ
春原
なに?
今からさ 校舎のガラス 壊して回ったら どうなると思う?
何それ… 退学じゃない?
そっか…
それじゃ 意味ないな
?
朋也──っ 写真とろ 写真!
もう 歩くことのない校舎
たまには 顔出しに来いよ
渚だけがいない学校を
卒業 おめでとう ございますっ



俺は今日卒業した
——あ
朋也くん おかえりなさい
…ばか
冷えるぞ 家に入ろう
ぷるっ
待ってたんです わたし
制服の 朋也くんを
最後の 制服姿です


卒業おめでとうございます
…渚…
…俺さ…
ずっと待ってたんだ
中庭で飯食ったり校舎を並んで歩いたり
渚がいればどこでもよかったんだ
学校なんか好きじゃなかったけど渚といた1ケ月
それだけは楽しかったから



…けど
俺…
今日 卒業しちまった…
ただ一度だけの学生生活
春も夏も秋も冬も——
色んな場所に行って遊んだりしたかった
一緒にいたかった
朋也くん…
優等生と不良のコンビって言われてもさ…
手をつないで歩きたかったんだ…
…お前をおいて…
もう戻れない
なのにさ…
俺…もう…



朋也くん
歩きましょう
ずっと一緒に
手をつないで
ずっ…
やっぱり…
俺も残ってればよかったんだ…
ダメです朋也くん
進める時には進むべきなんです
朋也くん前に進んでください
わたしはもう1年がんばります


渚は強くなつた
…そっか
そう…決めたんだな
もう立ち止まることのないように
前へ
——俺待ってるから…
がんばれ



[CLANNADオフィシャルコミック②・完]

クラナドよんこま


坂上智代（2年）
クールで大人びたイメージだが
実はかわいいもの好きである
生気がないと
かわいい…
あ
ビクゥ
ひァ…
すすみませんでしたっ
何も見てませんから
しかしあまりその事実は知られてない
どうだ
女の子らしいだろう



つき合い始めた朋也と渚
わたし彼女ですっ
彼氏っつー事はキスとかしてもいいんだよな…
かわいいなぁチクショウ
がんばりますっ
しかし応援すると言った手前…こりゃ裏切れん!!
明日が本番だと思うと不安で…
?
そっか…
どへ
せめて明日までの辛抱だ…
ガンバレ俺!!
そして――…
※P.158参照
一コマかよっっ!!!
しかも何やってるか分かんねーし
えっとうらやましいです…

お買上げありがとうございます！

…と、いうわけで

どもー　こんにちは。みさき樹里です。
2巻で一応、渚を軸にしたお話を描ききる事ができました。それでも渚の学園生活はまだまだ続くのです。朋也にも色々と頑張ってもらいます。…私も頑張らねばと思わされます。が…がんばる！
3巻はサブキャラメインの話が増える予定です。

次巻もよろしくお願い致します！



★Special Thanks★

まりも、あすらくん、轟さん
夏野さん、いっちゃん
千原さん　高部さん
そしてKeyのスタッフ様…etc.

ありがとうございます!!

CR COMICS

CLANNAD(クラナド) オフィシャルコミック②

●2006年6月15日　初版発行

著者●原作：Key(キー)
漫画：みさき樹里(じゅり)

発行者●石川順恵
発行所●ジャイブ株式会社

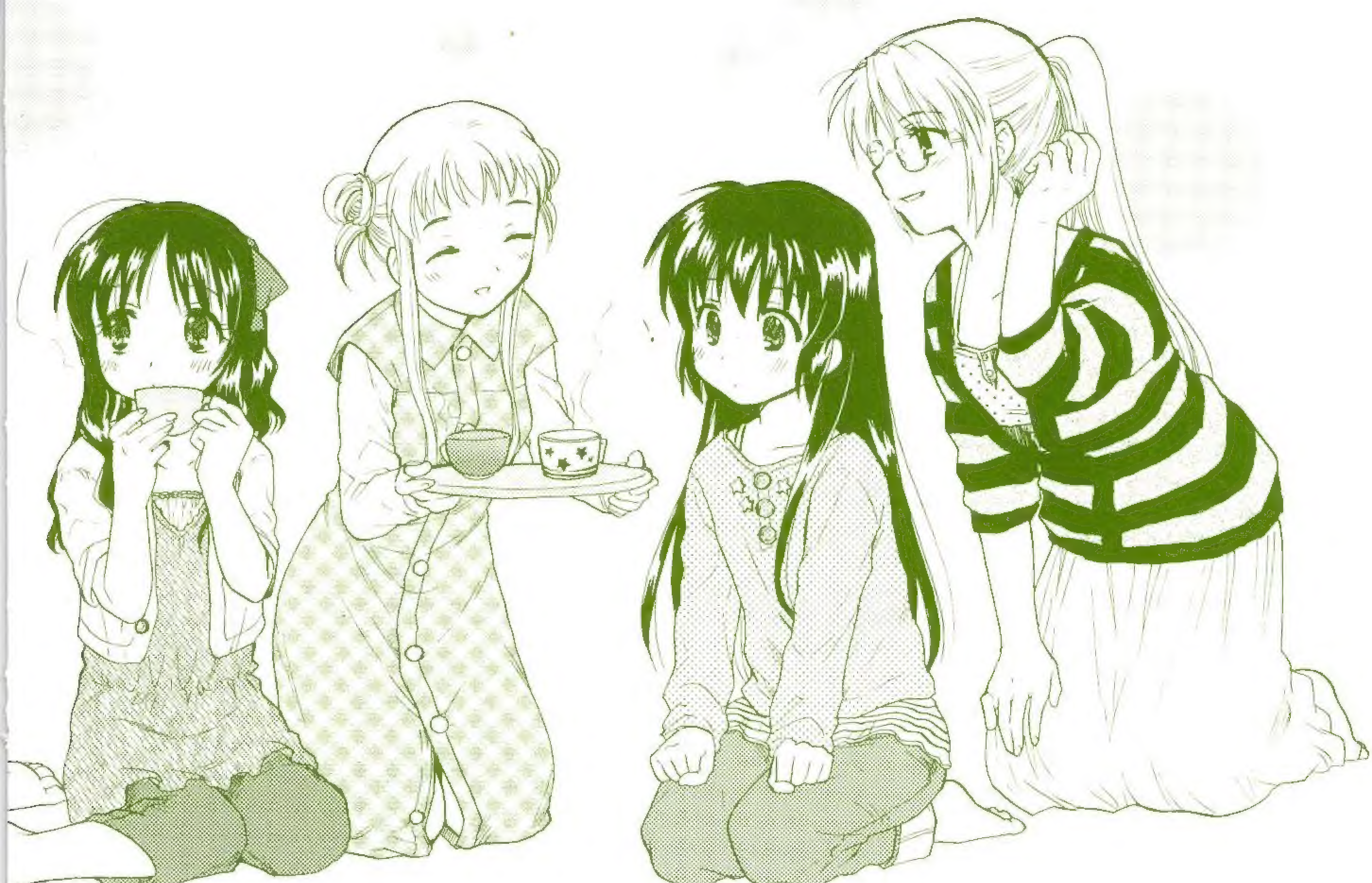
〒160-0003 東京都新宿区本塩町7-26
●編集／TEL:03(5367)2744
●営業／TEL:03(5367)2725　FAX:03(5367)2709
●注文センター／TEL:049(274)1653　FAX:049(259)5244
●ジャイブHP:http://www.jive-ltd.co.jp

印刷所●図書印刷株式会社
電植製版●株式会社オノ・エーワン

初出●月刊COMIC RUSH 2005年12月号～2006年5月号掲載

デザイン●sio

制作協力●有限会社パルプライド（喜多村・和田・深井・千原）


RIE
YUKINE
FUKO
TOMOYO

ISBN4-86176-308-8

C0979 ¥562E

9784861763083

1920979005624

ジャイブ

定価 本体562円 +税



高 校内では『不良』で有名な岡崎朋也と二回目の高校三年生を過ごす古河渚は、遠回りしながらも晴れて付き合う事になった。友人達の協力によって渚の夢だった演劇部の活動もできるようになり、創立者祭でひとり芝居を発表するため、忙しくも充実した日々が今、スタートしたのだった。